

Delphi/Intrawebを利用したお客様向けメンテナンス サービスポータル構築～経営戦略に機敏に対応 できる情報システム部門の確立へ



目次

- 1) 会社概要
- 2) 事業内容(JDLで、どういう会社?)
- 3) 業務のイメージ
- 4) 基幹系システムの再構築とIT化の目標
- 5) システム沿革
- 6) システム沿革(Web販売)
- 7) システム構成
- 8) user's roomのシステムイメージ
- 9) Webシステム開発手法について
- 10) Web デモ
- 11) Webシステム開発での注意点
- 12) Webシステムの課題(次のステップへ)
- 13) これからの情報システム部

1) 会社概要

概要

商号 株式会社日本デジタル研究所
設立 昭和43年9月9日（1968年）
資本金 90億7,800万
（東証一部上場）
代表取締役 前澤和夫
従業員数 975名（平成18年3月31日現在）

事業所

- ★ 本社 東京
- ▲ 工場 郡山
- 開発センター 札幌・郡山・松本
- 営業拠点 本社・札幌・新宿・横浜・名古屋
大阪・福岡・他26拠点
- ◆ サービスデポ 小田原・岐阜・松山・熊本



3

2) 事業内容 (JDLで、どういう会社?)

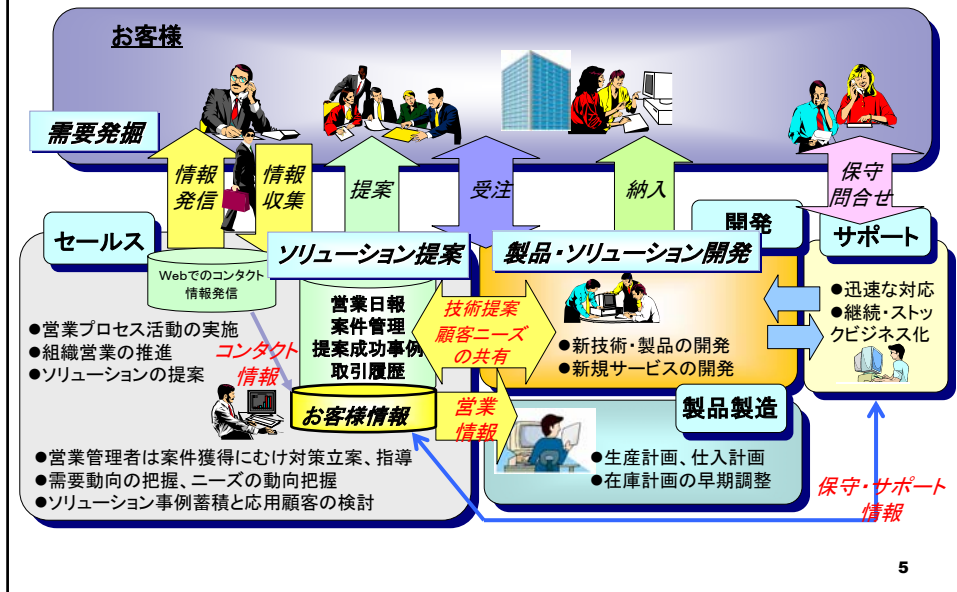
会計事務所や企業の経理部門の業務効率化に専門特化し、
プロユースのコンピュータ製品の開発し提供！！

- ① コンピュータハードウェア
- ② 財務・税務ソフトウェア
- ③ ユースウェアサービス（保守・オペレーションなど）
- ④ JDL IBEX出納帳Xなど汎用ソフト製品
- ⑤ Webサービス（データストレージなど）



4

3) 業務のイメージ



5

4) 基幹系システムの再構築とIT化の目標

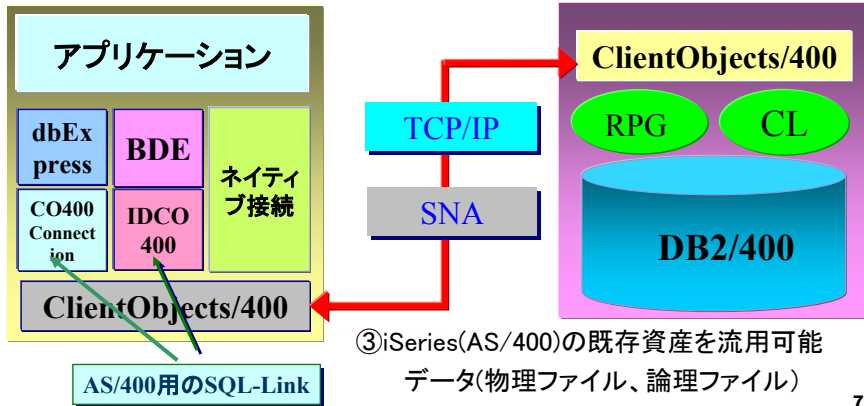
- ① 全社で利用を意識したデータベース群の構築 (情報の共有化)
- ② シームレスな物流システムの構築 (効率化)
- ③ ユーザーの現状にあった情報提供と提案を行える 販売支援システムの構築 (資産化)
- ④ 営業戦略データの提供と解放 (自由化)

6

(参考) Delphi/400によるC/Sシステム

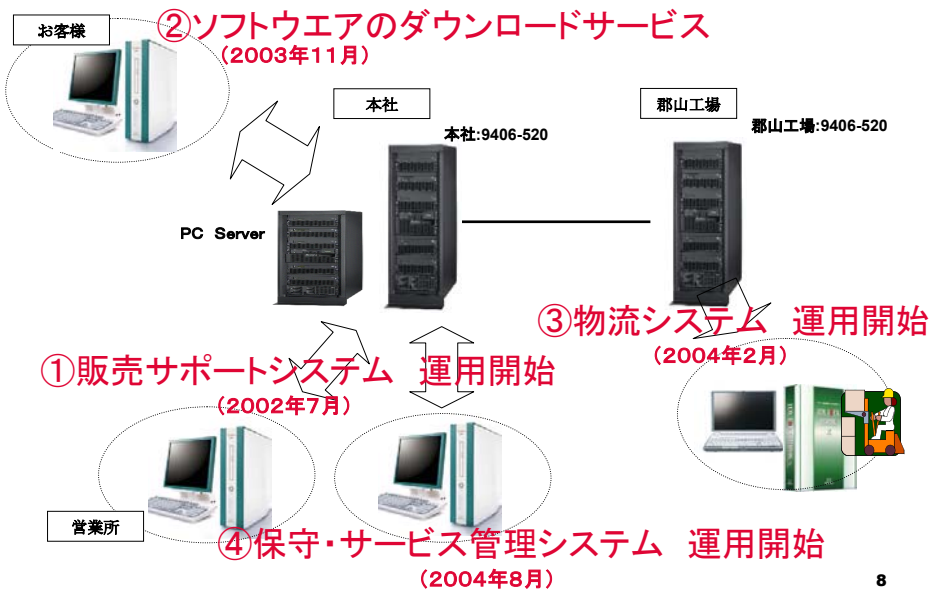
- ①PCやオープン環境では、豊富な実績があるBorland Delphiを iSeries(AS/400)に完全対応させた製品
- ②Delphi Enterprise版にSystemObjects開発のiSeries(AS/400)用ミドルウェアを付加した製品

Windows クライアント



7

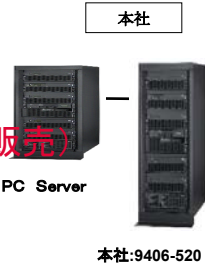
5) システム沿革



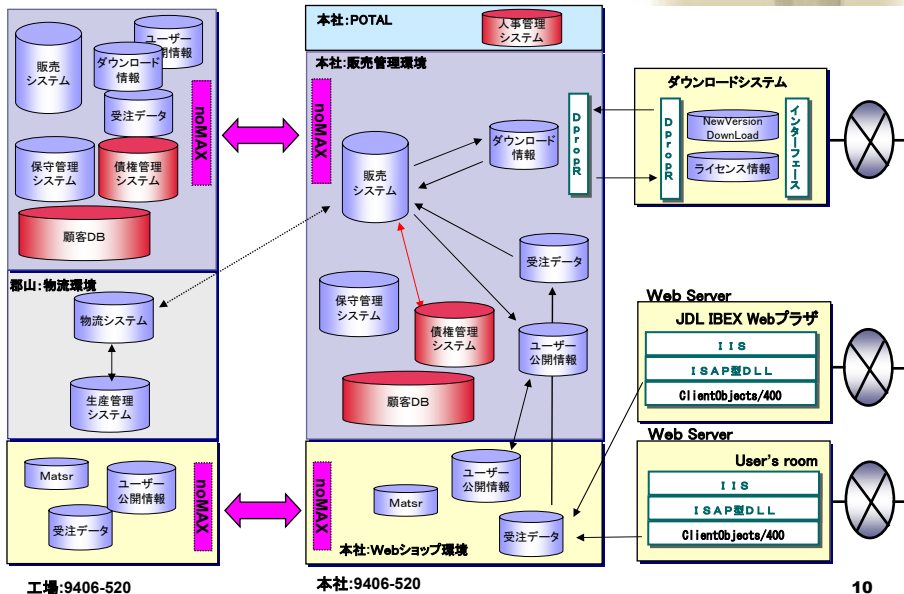
8

6) システム沿革 (Web販売)

- ① JDL user's room (2005年11月)
- ② JDL IBEX Webプラザ (2006年1月)
- ③ JDL user's room (サプライ品の販売) (2006年10月)

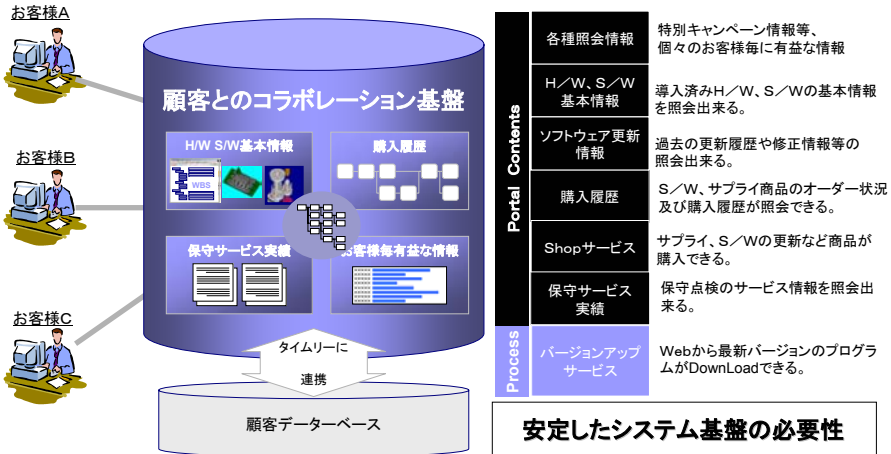


7) システム構成



8) user's roomのシステムイメージ

- 個々のお客様毎に有益な情報を公開し、サービスの向上と販売促進を支援する。
- Web環境でも、One to Oneの環境を実現を目指す。



11

9) Webシステム開発手法について

① Delphiをプログラムツールとして利用

- Webアプリケーション構築が比較的簡単に作成ができる
- 技術者がC/Sシステムの延長線上での開発が可能
- 複利の技術力アップ

② Webサーバー用のISAP型APIで、dllとして作成

- Intra Web (Delphiコンポーネントとして)を利用
- プログラム用の透過タグを埋め込むことで、利用/操作が可能
- CGIと違い、データベースの情報が、HTMLのデータとして残らない
- データのセキュリティが確保できる

③ フォームのHTMLファイルを利用

- HTMLファイル上にタグの記述が必要となる
- フォームを利用し、ページデザインと分離を行うことで、デザインメンテナンスが向上する
- HTML上の動作は、別にコントロールが可能変更

12

(参考) Delphi/400によるWeb機能



- WebBroker:
 - Webサーバーアプリケーションのインターフェースの違いを意識せずに開発できるフレームワーク
- WebSnap:
 - 複雑なデータ駆動型の開発や、サーバー側スクリプトのサポート等、WebBrokerを機能強化
- IntraWeb: (別オプション)
 - ユーザビリティの高いWebシステムを迅速に開発

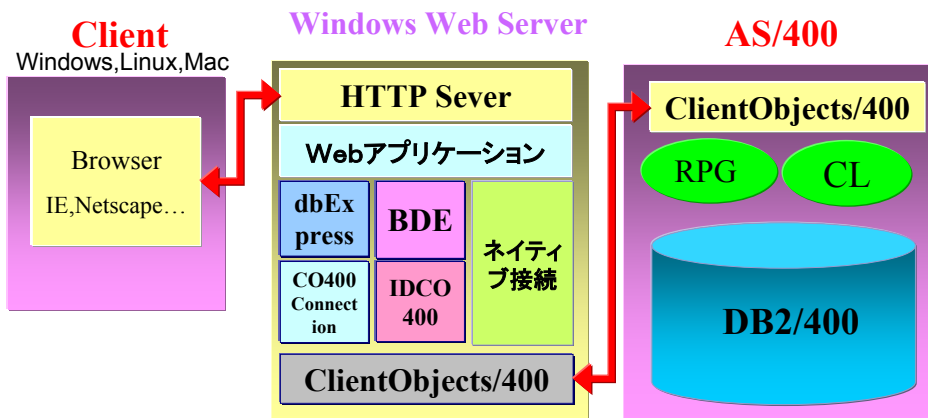
13

(参考) Delphi/400によるWebシステム



IntraWebとは:

一般的なC/SのWindowsアプリケーションと同じプログラミング手順で開発が可能
フォームやコンポーネント群を使いWebアプリケーションを構築



14

11) Webシステム開発での注意点



①利用ツールの課題点

- DelphiやIntraWeb日本語のドキュメントが少ない
- IntraWebは、世界での利用者は多いが、日本での利用者は少ない
- 問題点の解決に時間がかかる

②ISAP型のDLLでエラー解決のヒント

- テンプレートを利用したページでは、表示しきる途中で、アクティブロックが解除されエラーが発生するコンポーネントがある
- ASのデータベースとのセッションは、各DLLでスレッドを生成した単位でセッションをおこなう必要がある
- ブラウザ上で、戻るボタンがシステムの的にフォローされない

③テスト環境の構築

- DLLは一本化し、内部でテスト環境のコントロールをおこなう必要がある

17

12) システムの課題(次のステップへ)



①Webの欠点は、ユーザーが見にいかないと情報は伝わらない

- 送り手が見てほしい情報を見てもらえる仕組みを
- お客様へのアプローチを、いろいろな手段で対応を

②受注状況を分析して、システムで御用聞き営業を

- 受注情報をから販売への連鎖

③債権システムの再構築を

- 請求書の明細もWeb対応へ

④販売している情報と実態の相違

18

13) これからの情報システム部

①情報システム部としての夢を持ち実現へ

- 絶対にやる意識がないと実現できない

②プロジェクト体制では、業務改善はできない

- 業務を理解することが重要
- シンプルなシステムを考え、80%がシステム化できればよい
- システム化によって、人がやらなければならない仕事が見えてくる

③稼ぐシステム開発をおこなう

- 会社にとっても重要なポジションになる
- システムでマーケットを作ったのではない、営業のサポートである

④システムを整備することで、内部統制への対応を

19

本日はありがとうございました。

日本デジタル研究所

20